



JAPAN FOUNDATION

報道関係各位
プレスリリース

国際交流基金

ASIA center
JAPAN FOUNDATION

2018年1月10日
No. 2017-058-1/1

日本とインドネシアの若手アーティスト7名が 音楽を通じた国際共同制作に挑む

1月24日（水）、26日（金）京都で制作過程の公開と成果報告を実施

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）アジアセンターと7名の若手アーティストが協力して、音楽を通じた新たな国際共同制作に挑むプロジェクト、「NOTES: composing resonance」が始動します。2018年1月から7名のアーティストが、東京と京都で約2週間の滞在制作をおこないます。

本プロジェクトは、滞在中にお互いを知り合いながら、共に何ができるかを考え、音楽を通じて表現し、来年度に予定している国際共同制作の発表に向けて、今年度は企画の立案と作品制作を行います。京都にて制作過程公開としての Open Studio（1月24日）と、滞在期間中の成果報告のための Sharing Session（1月26日）を行います。なお、本プロジェクトにはアドバイザーとして、作曲家の野村誠氏とサウンドデザイナーの森永泰弘氏をお迎えしています。



- 【プログラム名】 NOTES: composing resonance
 【レジデンス日程】 1月15日~20日 東京滞在（於・BumB 東京スポーツ文化館）
 1月20日~28日 京都滞在（於・スペース RAKUBAKO）
 【参加者】 會田瑞樹（打楽器奏者）
 金子展寛（箏曲家）
 木皮成（演出家・振付家・ダンサー・映像作家）
 宮内康乃（作曲家）
 ガルディカ・ギギー・プラディプタ（作曲家・ピアニスト・即興演奏家）
 アグスティヌス・ウェリー・ヘンドラモコ（作曲家・編曲家・伝統楽器演奏家）
 アリエフ・ウィナンダ（作曲家・打楽器奏者・ドラマトウルク）
 【アドバイザー】 野村誠（作曲家）、森永泰弘（サウンドデザイナー）
 【イベント情報】

<Open Studio>（制作過程公開）

日時：1月24日（水）14：00～18：00（時間中、出入り自由）
 会場：放光山長福寺 スペース RAKUBAKO（京都市南区東九条烏丸町 34）

<Sharing Session>（成果報告）

日時：1月26日（金）16：00～（開場 15：30）
 場所：MTRL KYOTO（京都市下京区本塩竈町 554）
 共催：MTRL KYOTO

- 【予約申込方法】 notes@jpf.go.jp までお名前・ご連絡先・参加人数をご記入の上ご連絡ください。
 ※予約優先となります。どちらも無料イベントですが、報告会ではドリンクチャージがかかります。
 【主催】 国際交流基金アジアセンター
 【Web サイト】 <http://jfac.jp/culture/projects/p-notes-composing-resonance/>
 【公式 Web サイト】 <http://notes.jfac.jp>
 【Facebook ページ】 <https://www.facebook.com/NOTES.composing.resonance/>

主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金アジアセンター 文化事業第1チーム（担当：青柳、前田）

Tel: 03-5369-6140 / Fax: 03-5369-6141 / E-mail: notes@jpf.go.jp

取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金コミュニケーションセンター（担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp